

教科【商業】

単元名 情報の収集と分析

[指導項目] 関数を用いた情報の分析

1 単元の目標

(1) 統計的なデータ分析方法を理解し、分析結果に基づく改善策を提案しようと積極的に取り組む。 (2) 関数や表やグラフを活用して、データの検索・集計・表現する方法を身に付ける。
--

2 単元の評価規準

知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
統計的なデータ分析方法を理解し、関数を用いた検索・集計をすることができる。	適切な分析方法を選択し、分析結果に基づいて説明したり、表やグラフで分かりやすく表現することができる。	分析結果に基づく改善策の提案に向けて、積極的に取り組んでいる。

3 指導と評価の計画（12時間）

時間	ねらい・学習活動	重点	記録	備考（評価規準・評価方法）
第一次 (2時間)	1 データの特徴を見てみよう	知		配付プリントの記入内容や授業中の発言から、基本用語と概念の理解度を評価する。 配付プリント
	統計処理に活用できる関数 統計的なデータ分析の基本概念や平均・中央値・分散などデータの特徴を理解する。			
第二次 (2時間)	2 お買い上げ一覧表を作成しよう	知	○	適切な関数の活用と表の完成度を評価する。 実習成果物・配付プリント
	表から目的のデータを検索する関数 関数を活用して売上データを集計し、一覧表を作成する。			
第三次 (1時間)	3 データを分けて判定しよう	主	○	適切な条件設定と判定結果の正確さを評価する。 授業態度・実習成果物
	条件により処理を分岐する関数 条件付き関数(IFなど)を活用し、データを分類・判定する方法を理解する。			
第四次 (1時間)	4 金種計算表を作成しよう	知		適切な条件設定、関数の組み合わせと計算結果の正確さを評価する。 実習成果物・配付プリント
	数学に関する関数の応用 複数の条件設定と関数を組み合わせて金種計算表を作成する。			

第五次 (1時間)	5 勤務時間を計算しよう	知		適切な関数の活用と計算結果の正確さを評価する。 実習成果物・配付プリント
	日付や時刻に関する関数			
	時間計算に関する関数を用いて勤務時間を求める演習をする。			
第六次 (2時間)	6 一覧表から目的のデータを集計しよう	思	○	適切な条件設定と集計結果の正確さを評価する。 実習成果物・配付プリント
	データを検索・集計し、表現する技法			
	データベース関数 (DSUM など) を活用し、条件に応じた集計を行う。			
第七次 (2時間)	7 総合演習	思		適切な関数の活用と分析結果の表現を評価する。 実習成果物・配付プリント
	学習した関数、表やグラフの表現方法を組み合わせた演習			
	学習した関数を組み合わせて、分析結果を表やグラフに表現する。			
第八次 (1時間)	8 まとめと発表	思	○	根拠を提示した発表及び改善等の提案内容を評価する。 発表・配付プリント
	総合演習の分析結果の発表、改善策・追加分析の提案及び意見交換			
	分析結果の発表及び分析結果に対する改善策等の提案及び意見交換を行う。			

4 観点別学習状況の評価の進め方

観点：【思考・判断・表現】

(1) 評価の進め方

本単元では、適切な分析方法を選択・活用し、分析結果を根拠に基づいて説明したり、表やグラフでわかりやすく表現できる力を評価する。

具体的には、課題による演習において、適切な条件設定と関数の組み合わせの妥当性、分析結果の論理性を評価する。また発表では、根拠に基づいた説明、改善策や追加分析の提案内容について評価する。

(2) 評価の実施事例

ア 実施事例の概要

今回の実践においては、配付プリントで概要を学習した後に演習を行う。また配付プリントでは、授業の最後に自身の取組状況についての振り返りをする。

イ 評価規準

評価	B	A	C
状況	おおむね満足できる	十分満足できる	努力を要する
	指示に従って関数を選択し、分析結果を簡潔に説明し、表やグラフで表現することができる。	適切な分析方法を自ら選択し、複数の条件設定や関数を効果的に活用して、分析結果を根拠に基づいて説明し、表やグラフでわかりやすく表現することができる。	関数の選択や条件設定に誤りが多く、分析結果の説明や表現が不十分である。 【手立て】 学習した関数や条件設定について、簡単な課題で復習させる。 手順を段階的に示し、ペア学習でサポートを受けられる環境を整える。 実習成果物の完成後、取り組みの振り返りをさせる。

ウ 評価の考え方

○「おおむね満足できる」状況（B評価）

指示に従って関数を選択し、分析結果を簡潔に説明できる。表やグラフで表現することができる。

○「十分満足できる」状況（A評価）

自ら分析方法を選択し、複数の条件設定や関数を効果的に活用している。分析結果を根拠に基づいて論理的に説明し、表やグラフでわかりやすく表現できる。

○「努力を要する」状況（C評価）

関数の選択や条件設定に誤りが多く、分析結果の説明や表現が不十分である。分析の過程や根拠が示されていない。